

松江市 報道提供資料

令和4年3月23日

- 件名** 松江歴史館スポット展示「明治時代のワクチン接種」の開催
- 内容** 感染症の中で唯一、人類が根絶した「天然痘(痘瘡)」について、明治時代の感染予防の取組を知る資料を公開します。天然痘は致死率が高い感染症で、世界中で流行し人類を苦しめてきました。18世紀末に安全なワクチンが作られ、日本には江戸時代後期にワクチン接種の技術(種痘)が伝播しています。松江藩では9代藩主松平齊貴が西洋医学を好んだため、松江藩領では「あばた(天然痘の痕)」を持つ人が少ないことが自慢であったと言われています。明治政府は明治3年(1870)に太政官布告で国民に種痘を受けるよう勧め、同7年10月には種痘規則を定めて接種が済んだ人にはそれを証明する証書を出したのです。今回は昨年寄贈された資料の中から明治8年2月発行と考えられる種痘証を初公開します。この種痘証は現在確認している種痘証では県内最古のものです。また、同年に集団接種が行われていたことを示す資料も公開します。
- 会期** 令和4年(2022)4月5日(火)～5月29日(日) 開館時間:9:00～17:00
休館日:毎週月曜日(但し、5月2日(月)は開館)
- 場所** 松江歴史館 基本展示室内(最終コーナー)
観覧料:大人510円、小・中学生250円(基本展示観覧料)
- 注目点** ・明治時代の感染症対策について紹介した展示です
・県内最古の種痘証(ワクチン接種証)を初公開します

【問い合わせ】

歴史まちづくり部 松江歴史館 担当:新庄 電話:0852-55-5511